

**キャスター3年目となる工藤公康氏に加え、
元・高校球児の三上大樹アナ&
2014年入社の新人・山本雪乃アナが
「熱闘甲子園」新キャスターに決定！
高校野球に縁の深い3人が意気込みなどを語る！**



【出演】

キャスター：工藤公康（くどう・きみやす）
三上大樹（みかみ・ひろき）（テレビ朝日）※新キャスター
山本雪乃（やまもと・ゆきの）（テレビ朝日）※新キャスター

【放送日時】

8月9日（土）～8月23日（土）
月～金 午後11：10～午後11：40（予定）
土・日 午後11：15～午後11：45（予定）
※雨天順延あり、決勝戦まで放送
※雨天等で全試合中止の場合は番組休止
※時間変更の場合あり

**テレビ朝日・三上大樹アナ&山本雪乃アナが
「熱闘甲子園」新キャスターに決定！**

8月9日に開幕する「第96回全国高等学校野球選手権大会」。ABC・テレビ朝日系列では、「大会中継」ならびに、大会期間中連夜お届けする「熱闘甲子園」（ABC・テレビ朝日系列全国ネット）などこの夏も全力でお送りします。

今年も、「熱闘甲子園」キャスター3年目となる工藤公康さんが高校球児の闘いを熱く伝えます。さらに、テレビ朝日の三上大樹アナウンサーと山本雪乃アナウンサーが「熱闘甲子園」キャスターに就任することが決定！2人ともはじめての「熱闘甲子園」キャスターとなります。三上アナは、高校時代・大学時代を野球部で過ごし、「生まれ変わったらプロ野球選手になりたい」と語るほどの野球好き。「熱闘甲子園」のキャスターに男性アナウンサーが起用されるのは14年ぶりのこととなります。また山本アナは、今年4月に入社したばかりの新人アナで、自身初の「全国ネット番組 MC」を担当することとなります。番組にともって、新人アナウンサーをキャスターに起用するのは初めてのことです。

元球児である三上アナ、大学を3月に卒業したばかりの山本アナ、2人は球児たちやその世代により近いフレッシュな目線から、熱戦のドラマをお伝えします！

先日キャスターの3人が初めて顔を揃え、「熱闘甲子園」PR用の写真や番組への意気込みなどを語る収録などが、テレビ朝日7階の屋外テラスにて行われました。

この日まず行われた写真撮影に、手渡された野球ボールをツーシームの形で握りポーズを決めたのは、新キャスターとなった三上大樹アナ。実は三上アナ自身も元高校球児で、チームのエースとして甲子園をめざした経験があります。それだけに「夢だった甲子園に、大好きな『熱闘甲子園』で関わることが出来る、本当にこれ以上ない幸せです！」と喜びをにじませ、気合十分。そして写真撮影にはじける笑顔で臨んだのは、まだ入社1年目の新人ながら今回「熱闘甲子園」のキャスターに大抜擢された山本雪乃アナ。実は山本アナも2人のお兄さんが兄弟でバッテリーを組んでいた元高校球児ということで、高校野球には縁があります。「今回のキャスター抜擢が決まって、家族が皆喜んでいます。すごくうれしいです！」と話し、「3人の中で私が高校球児と一番年代が近いので、フレッシュに頑張りたいと思います！」と意気込みを語りました。

そんな2人の新キャスターから「ずっとテレビで見てきた大投手で、今の僕にとってはお父さんみたいな存在」（三上アナ）、「ホントに気さくで優しくてユーモアのある方」（山本アナ）と絶大な信頼を寄せられるのは、今年で“熱闘！高校野球ナビゲーター”3年目となる工藤公康さん。二人の新キャスターに対し、「三上アナには、高校球児だった経験を生かして、高校野球の素晴らしさ、そして甲子園に出た球児たちがどんなことを思っているのかを伝えて欲しい。そして山本アナには、球児たちの頑張る姿を女性の目から見た時にどう感じるか、そこを素直に、飾らないで伝えてほしい！」と期待を寄せます。

3人揃って行われたPR写真撮影やコメント収録は、工藤公康さんが終始ユーモアにあふれるコメントで場をなごませながら、和気あいあいと進行。「熱闘甲子園」と書かれたプラカードを持った山本アナを先頭に、3人が入場行進をしている雰囲気の写真などが撮影されました。最後に行われたコメント収録で、三上アナが「今はサッカーワールドカップで盛り上がっていますが、この後は熱い熱い甲子園の季節が始まりますので、そのままの熱気で高校野球も応援して欲しいと思います！」と語ると、工藤さんも「高校生の熱いプレー、一球に賭ける想い、そしてベンチや監督を含め、そのチームワークをぜひ見て頂きたいと思います」とコメント。「この3人でお送りする今年の熱闘甲子園は、8月9日野球の日、スタートです！」と締めくくりました。

高校野球に縁が深く熱い思いを抱く3人のキャスターが、高校球児たちの奮闘を伝える今年の「熱闘甲子園」に、ぜひご期待下さい！

【熱闘！高校野球ナビゲーター・工藤公康氏コメント】

☆今年で3年連続3回目の「熱闘甲子園」ですが、今の心境は？

「今か今かと待ち遠しく、僕の中では早く来いという思いでいっぱいです。」

☆去年の高校野球で最も印象に残っているシーンは何ですか？

「やっぱり浦和学院の小島投手がベンチに帰って、監督の胸で泣いていたシーンというのは、僕もすごくジーンときたシーンでもありましたし、彼の思いが伝わってきて、胸が熱くなりました。」

☆今年、工藤さんが「熱闘甲子園」でこだわって伝えたいことを教えてください。

「プレーも当然あるんですけど、選手同士が支え合う心、絆、想い、そういうところが『熱闘甲子園』

で一番出るところなんじゃないかと思っています。そういうグラウンドだけではない、絆みたいなものを少しでも出してあげられたら、テレビでご覧の皆さんにも感動を呼ぶのではないかと思っています。」

☆今年、キャスターとして新たに加わる、三上大樹アナ、山本雪乃アナの印象、期待することをお聞かせください。

「三上アナの場合は、仕事も一緒にしたことがあります、非常に真面目で、僕とは違う目線の見方をしてくれるのではないかと期待しています。彼には野球の楽しさ、素晴しさ、そして甲子園に出た球児たちがどんなことを思って闘っているのかを伝えて欲しい。彼自身も高校球児でしたから、そういう経験をしている人がしっかりと伝えるっていうことが大事だと思いますので、その辺を期待しているし、頑張ってもらいたいと思います。山本アナとは初めて一緒ですが、撮影の合間にお話をしたら、なんとうちの息子と同年ということで、非常に親近感が沸きました(笑)。彼女には、ぜひ大きな目線で球児たちを見て欲しいなと思いました。僕らはある程度野球を知っているので、どうしても細かい所を見ちゃうのですが、山本アナにはもっと大きい目線、女性としての目線からしっかり伝えて欲しい。球児たちを女性の目から見た時にどう感じるか、そこを素直に、飾らないで喋ってくれば番組を見ている方に伝わるんじゃないかなと思います。三者三様の色をしっかりと出して協力し合って、今年の『熱闘甲子園』を素晴らしい番組にしたいと思っています。」

【新キャスター・三上大樹アナコメント】

☆「熱闘甲子園」初キャスター担当ですが、決まったときの心境を教えてください。

「その瞬間は信じられなくて、頭が真っ白になるってこういうことなんだなと…本当に訳がわからなくなりました。『熱闘甲子園』は自分が高校球児だった時からずっと見てきた大好きな番組だったので、今でもまだ夢心地というか…信じられないですね。」

☆ご自身の高校野球に関する思い出を教えてください。

「僕はピッチャーで最後は背番号1を貰ったんですが、結局は悔いの残る夏だったんですね。あれからもう10年ぐらい経つんですけど、今でも夢に見るんです。あの悔しかった思い出を。ですから、最後はあんまりいい思い出ではないんですけど、でもあの時の悔しさが今の自分の糧になっているので、あの経験があって、あの夏一生懸命頑張ってた良かったと今でも思っています。」

☆三上アナが思う、「高校野球の魅力」とはなんでしょう？

「自分自身がやっても、見ていてもそうなんですが、高校野球ってエースや4番だけではなくて、ベンチの選手とかスタンドの仲間だったりとか、誰でも主人公になれるし、色んな所にドラマがある。ドラマがいっぱい詰まっているのが高校野球の魅力だないつも思っています。」

☆どんな「熱闘甲子園」を伝えていきたいですか？

「やっぱり工藤さんがいらっしゃる中で、僕自身は“甲子園に出られなかった、悔しい思いをした元高校球児”という立場なので、勝った選手だけではなくて、勝てなかった選手ですか、甲子園に出られなかった選手、色んな球児たちの思いをちゃんと『熱闘甲子園』の魅力として伝えたいと思っています。」

☆工藤さんと一緒にキャスターを務めることになりましたが、どんな印象をお持ちですか？

「(他の番組で共演させて頂いたことはあるんですが、)本当に懐が大きくて全部受け止めてくれる方ですね。工藤さんはずっとテレビで拝見してきた大投手だったので、最初お会いした時は(僕は)ガチガチだったんですけど、僕にとってはお父さんみたいな存在で、いい意味で甘えさせて貰っています(笑)。」

☆今年、キャスターとして新たに加わる、山本アナについてお聞かせください。

「山本アナが内定者時代の時に、僕が研修担当をしていたんです。ですので、年はそう離れていないんですけど、彼女のことは娘のように思っていますし、『熱闘甲子園』の中での成長も見守っていきたいなと思っています」

【新キャスター・山本雪乃アナコメント】

☆「熱闘甲子園」のキャスターに決まったときの心境を教えてください。

「一言も言葉が出なかったのをよく覚えています。すごく嬉しかったんですけど、その“嬉しい”の前に、ビックリが先に来てしまったので、喜びを感じたのは1週間くらい経ってからでした(笑)。」

☆高校野球の思い出を聞かせてください

「私には2人兄がいて、兄弟バッテリーだったので、よく応援に行っていました。残念ながら県大会1試合目で負けてしまったんですが、沢山の人が応援に来てくれて、妹としてすごく嬉しかったのをよく覚えています。」

☆高校野球の魅力とは何だと思えますか？

「やっぱり全カプレー。試合が終わる最後までヘッドスライディングをしたり、一塁まで全力疾走したりする選手の姿がすごく印象的ですし、土で汚れたユニフォームで汗をかいて頑張る姿にとっても感動します。」

☆山本アナはどんな「熱闘甲子園」を伝えていきたいですか？

「私が高校球児と一番年が近いので、その目線を大事にして、五感で感じたものを視聴者の方に伝えていける『熱闘甲子園』にしたいです！」

☆今日初めて会った工藤さんはどんな印象でしたか？

「テレビで拝見していた方なので、どんな方なのかなと思ったんですけど、本当に気さくで優しくてユーモアのある方で、安心して一緒に番組が出来るかなと思っています。」

【プロデューサーコメント（朝日放送・東野裕、テレビ朝日・加藤暁史）】

「番組出演3年目となる工藤公康さんは、高校野球に対して、人一倍熱い想いを持っておられるので、今年も球児に寄り添った取材を通じ、工藤さんならではの視点で高校野球のすばらしさを伝えていただきたいと思います。また、今年には新キャスターとして若い二人を起用します。男性アナとして14年ぶりのキャスターとなる三上大樹アナウンサーには、元高校球児だからこそ感じる部分をストレートに表現してほしい。また、スポーツアナウンサーとして、ふだん工藤公康さんと仕事をともにしているので、スタジオで工藤さんの自然なコメントを引き出してもらいたいと考えています。また、山本雪乃アナウンサーには、新人らしく、番組にフレッシュな風を吹き込んでもらいたいと思います。お兄さん二人が元球児ということですので、球児を支える家族の思いなども、女性の立場で伝えてもらえたらと期待しています。」

【スタッフ】

プロデューサー 東野 裕（ABC）・加藤 暁史（テレビ朝日）